

# 2016 年度環境活動レポート

対象期間：2016年7月～2017年6月



発行日：2017年10月2日



輝く未来のために！

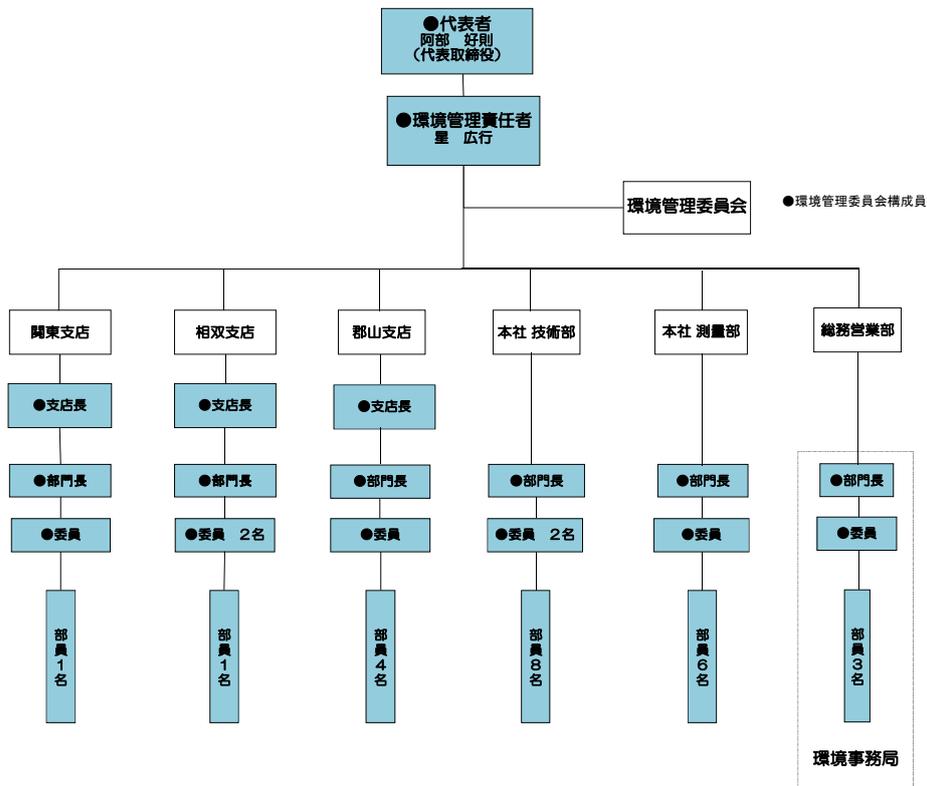
**フタバコンサルタント株式会社**

いわき市好間町上好間字岸 12-3

# 目 次

1. 環境経営組織図と役割分担	3
2. 事業活動の概要	4
3. 環境方針	5
4. 主な環境負荷の実績	6
5. 環境目標とその実績	7
6. 環境活動計画の取組結果とその評価	10
7. 環境関連法規制の遵守状況	11
8. 代表者における全体評価と見直しの結果	11

# 1. フタバコンサルタント株式会社 環境経営システム組織図



組織	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境目標・環境活動計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ票を承認</li> <li>環境目標・環境活動計画を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境活動レポートの確認</li> </ul>
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境目標・環境活動計画を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境活動レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境目標、環境活動計画書原案の作成補佐</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境目標、環境活動計画書原案の作成</li> <li>自部門における環境経営システムの実施</li> <li>自部門における環境方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>自部門における緊急事態対応手順書の作成、テスト・訓練の実施、記録の作成保管</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## 2. 事業活動の概要

### 1. 名称及び代表者名：

フタバコンサルタント株式会社

代表取締役 阿部好則

### 2. 所在地：

本社	〒970-1153 福島県いわき市好間町上好間字岸 12-3	TEL 0246-36-6781
	延床面積 495.98 m <sup>2</sup> 従業員数 24 名	
郡山支店	〒963-0111 福島県郡山市安積町荒井字大池 49 番地	TEL 024-946-7567
	延床面積 157.32 m <sup>2</sup> 従業員数 6 名	
相双支店	〒976-0014 福島県双葉郡楡葉町大字北田中満 229-2	TEL 0244-26-8628
	延床面積 103.32 m <sup>2</sup> 従業員数 4 名	
関東支店	〒305-0042 茨城県つくば市下広岡 1040 ジョイプラザ 202	TEL 029-859-1135
	延床面積 132.00 m <sup>2</sup> 従業員数 4 名	

### 3. 売上高： 1,116 百万円 (2016 年度)

### 4. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先：

責任者： 取締役営業本部長 星 広行

担当者： 総務営業部次長 佐伯 英樹 総務営業部主任 小林 卓矢

TEL： 0246-36-6781

FAX： 0246-36-6670

### 5. 認証・登録の対象範囲：

測量・設計・地質調査

### 6. 業務内容：

測量 基準点測量・水準測量・地形測量・路線測量・河川測量・トンネル測量・用地測量・  
工事測量・GPS (GNSS) 測量・3Dレーザースキャナー測量 (地上型・車載型)・  
UAVによる3D計測

設計 道路設計・河川設計・砂防及び海岸設計・下水道設計・宅地設計・構造物設計・  
各種許認可申請・積算業務・リアルパース業務・GIS業務

調査 地質調査・物理探査・地すべり調査・地下水調査・各種原位置試験・土質試験・  
環境測定・家屋調査

### 7. 対象組織の従業員数：38人

## 環境方針

### 基本理念

フタバコンサルタント株式会社は、「社会環境整備のトータルコンサルタント」として、地球環境に配慮した事業活動を継続するため、地球環境の保全と負荷の低減に向け社員一丸となって取り組みます。

### 行動指針

- 1 環境関連法規及び当社が同意した事項を遵守します。
- 2 環境目標を定め、よりよい環境水準を目指すため、必要に応じて見直しを図りながら、環境活動を継続的に行います。
  - ① 二酸化炭素排出量の削減を推進します。
  - ② 水道使用量を削減します。
  - ③ 廃棄物の削減とリサイクルを推進します。
  - ④ 必要な物品の購買について、グリーン購入を推進します。
  - ⑤ 環境に配慮した工法の提案に努めます。
- 3 この環境方針は当社全社員に周知すると共に環境レポートを公開します。

制定日 2012年7月14日

フタバコンサルタント株式会社

代表取締役 阿部好則

#### 4. 主な環境負荷の実績

環境への負荷		単位	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
二酸化炭素排出量		kg-CO <sub>2</sub>	205,084	179,820	178,501	166,159	172,052
	電力	kWh/年	90,881	81,744	83,305	85,687	91,748
	液化石油ガス(LPG)	m <sup>3</sup> /年	63.5	51.0	72.1	87.7	70.6
	ガソリン	ℓ/年	70,237.5	62,212.0	61,298.7	55,500.7	56,965.07
	(軽油)	ℓ/年	0	0	0	0	0
廃棄物排出量(本社)	一般廃棄物	t	2.322	0.962	0.999	1.247	2.477
	産業廃棄物	t	2.14	0.48	3.52	0.83	3.9
水使用量		m <sup>3</sup>	452	429	547	560	413
化学物質使用量		kg/年	0	0	0	0	0
事務用品グリーン購入		購入費当りのエコレベル商品購入費(%)	実績不明	63.5%	62.9%	62.9%	57.6%
地域活動		社屋周辺放射線量モニタリング 道路清掃美化活動への参加 地域イベント「よしまわっしょい」参加 愛の助け合い献血 その他各種技術講習会等					

※2011年8月相双支店仮事務所使用開始

※二酸化炭素排出量を把握する際に用いた購入電力の排出係数は0.429である（東北電力）

※廃棄物の排出量は処理業者のデータを含む

## 5. 環境目標とその実績

### ①中長期目標

項目		単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
			基準年度			
二酸化炭素排出量		kg-CO <sub>2</sub>	166,159			
			※	△1%	△2%	△3%
	電力	kWh	85,687			
			対基準	△1%	△2%	△3%
	液化石油ガス (LPG)	m <sup>3</sup>	87.7			
			対基準	△1%	△2%	△3%
	ガソリン	ℓ	55,501			
			※	△1%	△2%	△3%
廃棄物排出量	一般廃棄物	t	1.247			
			対基準	△1%	△2%	△3%
	産業廃棄物	t	0.830			
			対基準	△1%	△2%	△3%
水使用量		m <sup>3</sup>	560	△1%	△2%	△3%
事務用品グリーン購入		購入費当りのエコペ ル商品購入費(%)	62.9%	63.9%	64.9%	65.9%
環境に配慮した工法の提案		件	4	4	4	4

※取組年度売上高にて比例計算した数値に対して

施設別環境目標 2016年度実績

事業所 本社	単位	基準年度	運用期間における実績				
			2016年7月～2017年6月				
			2015年度	目標※	実績	達成度(%)	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	86,848	88,687	78,896	112.4	◎	
電力	kWh	45,921	45,462	49,621	91.6	○	
液化石油ガス(LPG)	m <sup>3</sup>	71.9	71.18	52.6	135.3	◎	
ガソリン	ℓ	28,730.1	29,609.0	24,672.9	120.0	◎	
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	1247.000	1234.5	1289.100	95.8	○
	産業廃棄物	kg	830	821.7	1,220	67.4	△
水使用量	m <sup>3</sup>	364	360.36	256	140.8	◎	
事務用品グリーン購入	購入費当りのエコパ <sup>®</sup> ル商品購入費(%)	61.2	62.2	64.5	103.7	◎	
環境に配慮した工法の提案	件	1	1	2	-	○	

事業所 関東支店	単位	基準年度	運用期間における実績				
			2016年7月～2017年6月				
			2015年度	目標※	実績	達成度(%)	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	37,551	47,776	36,866	129.6	◎	
電力	kWh	19,443	19,249	20,217	95.2	○	
液化石油ガス(LPG)	m <sup>3</sup>	5.5	5.45	4.7	115.9	◎	
ガソリン	ℓ	12,566.9	17,007.0	12,131.0	140.2	◎	
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	529.0	523.7	1363.2	38.4	×
	産業廃棄物	kg	0	0	0	-	-
水使用量	m <sup>3</sup>	64	63.36	93.8	67.5	△	
事務用品グリーン購入	購入費当りのエコパ <sup>®</sup> ル商品購入費(%)	81.7	82.7	72.8	88.0	○	
環境に配慮した工法の提案	件	0	1	0	-	△	

事業所 郡山支店	単位	基準年度	運用期間における実績				
			2016年7月～2017年6月				
			2015年度	目標※	実績	達成度(%)	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	22,257	19,871	22,079	90.0	○	
電力	kWh	14,072	13,931	15,944	87.4	○	
液化石油ガス(LPG)	m <sup>3</sup>	5.9	5.84	7.5	77.9	△	
ガソリン	ℓ	6,970.6	5,969.0	6,543.7	91.2	○	
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	710.500	703.4	768.950	91.5	○
	産業廃棄物	kg	0	0	0	-	-
水使用量	m <sup>3</sup>	105	103.95	60	173.3	◎	
事務用品グリーン購入	購入費当りのエコパ <sup>®</sup> ル商品購入費(%)	43.9	44.9	39.8	88.6	○	
環境に配慮した工法の提案	件	0	1	0	-	△	

事業所 相双支店	単位	基準年度	運用期間における実績				
			2016年7月～2017年6月				
			2015年度	目標※	実績	達成度(%)	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	19,502	29,964	34,211	87.6	○	
電力	kWh	6,251	6,188	5,966	103.7	◎	
液化石油ガス(LPG)	m <sup>3</sup>	4.4	4.36	5.8	75.1	△	
ガソリン	ℓ	7,233.1	11,751.0	13,617.4	86.3	○	
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	410,000	405.9	366,600	110.7	◎
	産業廃棄物	kg	0	0	0	-	-
水使用量	m <sup>3</sup>	27	26.73	34	78.6	△	
事務用品グリーン購入	購入費当りのエコパ ル商品購入費(%)	55.1	56.1	45.5	81.1	○	
環境に配慮した工法の提案	件	0	1	0	-	△	

※平成29年3月までは相双支店仮事務所の値。  
平成29年4月より相双支店本格稼働により相双支店の値を実績値とする。

全事業所 計 (参考)	単位	基準年度	運用期間における実績				
			2016年7月～2017年6月				
			2015年度	目標※	実績	達成度(%)	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	166,159	186,298	172,052	108.3	◎	
電力	kWh	85,687	84,830	91,748	92.5	○	
液化石油ガス(LPG)	m <sup>3</sup>	87.7	86.82	70.6	123.0	◎	
ガソリン	ℓ	55,500.7	64,336.0	56,965.1	112.9	◎	
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	2896,500	2867.5	3787,850	75.7	△
	産業廃棄物	kg	830	821.7	1,220	67.4	△
水使用量	m <sup>3</sup>	560	554.40	413	134.2	◎	
事務用品グリーン購入	購入費当りのエコパ ル商品購入費(%)	62.9	63.9	57.6	90.1	○	
環境に配慮した工法の提案	件	1	4	2	-	○	

※目標値は、2016年度の売上高に基づき、ガソリン消費量を比例計算して設定している。  
評価欄にて、◎:達成、○:80%以上100%未満、△:50%以上80%未満、×:50%未満  
環境に配慮した工法の提案については、4件以上で◎、1件以上で○、ゼロの場合は△とする。

## 6. 環境活動計画の取組結果とその評価

項目		活動計画の内容	取組結果の評価	今後の課題
二酸化炭素排出量削減	電力使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>外出時、昼休み等パソコンを使用していないときには電源を切るかスリープさせる。</li> <li>エアコンの設定温度を、夏期は28℃、冬期は20℃とする。</li> <li>パソコン、コピー機等のOA機器を省電力設定にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実行できた。</li> <li>目標の温度設定では作業効率が落ちる場合、実施できなかった。</li> <li>実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続</li> <li>努力目標として継続</li> <li>継続</li> </ul>
	LPガス使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>湯沸かし時、火力を最強にしない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>心がけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続</li> </ul>
	ガソリン使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>急発進、急加速をさけ、停車中のアイドリングを行わない。</li> <li>タイヤの空気圧を確認し、適正値を保つ</li> <li>車両の積載物を減らす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工程会議で確認を行い心がけた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続実施</li> <li>低燃費車の導入の検討</li> </ul>
廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物の分別を掲示し徹底する。</li> <li>コピーの裏面のカセットを用意し、チェック等に使用する印刷物はそれを活用する。</li> <li>両面、縮小コピーを行い印刷物の量を少なくする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き行っている。</li> <li>常に行っている。</li> <li>心がけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いずれも継続</li> </ul>
	産業廃棄物排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>杭及び資材はなるべく業務終了時に回収し再利用する。</li> <li>修理可能な商品は可能な限り修理して、長期に使用できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>可能な限り行った。</li> <li>使用に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>状況に応じて実行する。</li> </ul>
水使用量削減		<ul style="list-style-type: none"> <li>食器洗い、手洗い時の流水量を控える。</li> <li>トイレ時の流水で大と小を使い分ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実行した。</li> <li>心がけた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続</li> </ul>
事務用品グリーン購入の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>カタログのエコマーク等を確認して注文する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実行できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続</li> </ul>
環境に配慮した工法の提案		<ul style="list-style-type: none"> <li>法面工等については極力緑化工法を提案する。（設計）</li> <li>工法について調査する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境配慮に基づく方法を調査研究している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き調査し提案できる様にする。</li> </ul>

## 7. 環境関連法規制の遵守状況

2017年7月1日付において、環境関連法規等の遵守状況を確認しましたが、違反状態は認められませんでした。また、関係当局からの指摘や指導、あるいは、外部からの訴訟についても、過去3年間一度もありません。

## 8. 代表者による全体評価と見直しの結果

2017年10月2日に代表者が全体評価と見直しを行いました。

環境活動も5年目を迎えるが、環境に対する意識を再度高め、新たに入社した社員にも定着させること。全体会議での報告等により、全社で一丸となり環境貢献活動の推進を図ること。

環境目標の達成状況について

二酸化炭素排出量について今年度の目標を達成することができた。これは前年度より売上が増加する中、ガソリンの使用数量を想定量より抑えることができたことが大きい。各社員にエコドライブや効率のよい走行ルート、乗り合せ等による環境負荷低減が浸透してきている。

電力については相双支店を除き増加しており、売上増加による内業での電子機器使用が大きな要因である。外出時のパソコンのスリープや室温均一のためのサーキュレータの活用等今後も継続し活動を続けていく

尚、本社にて、一般廃棄物・産業廃棄物ともに増加率が大きいのが、相双支店仮事務所の閉鎖に伴うものである

環境活動計画の実施状況について

堅実に実行している。

法規制等に関する情報

遵守している。

変更すべき事項

ガソリン使用量予測の指標の検討および社員へのエコアクション実施による効果について見える化を検討する



2017年度環境活動レポートは2018年10月15日発行予定